

TDK Today

Vol.49

2011年4月1日 ▶
2012年3月31日

特集

クラウド
コンピューティングと
TDK



積極的な構造改革と 成長市場へのシフトで、 V字回復を果たします。

代表取締役社長 上釜 健志



2012年3月期の業績の 振り返りをお願いします。

上釜：当期は、残念ながら、売上・営業利益とも減少し、そして純損失を計上する、厳しい結果となりました。

- ・連結売上高：8,145億円(前期比6.6%減)
- ・営業利益：187億円(前期比70.9%減)
- ・当期純損失：25億円

この業績悪化には、いくつかの要因がありました。一つには、先進国における経済活動の減速、欧州の金融不安に起因する懸念、東日本大震災などによる日本経済の停滞といったマクロ的な要因が挙げられます。また、エレクトロニクス業界においても、セット製品の生産水準は、スマートフォンを中心としたモバイル端末や、ハイブリッド車・電気自動車は前期より増加したものの、薄型テレビやパソコンは横ばい、ハードディスクドライブ(HDD)はタイの洪水被害の影響で減少し、当社の想定を下回りました。さらに、当社グループが震災

やタイ洪水の影響を直接受けるなど、一時的な要因も加わり、業績悪化につながりました。

しかしながら当社は、既に収益改善に向けた構造改革に着手し、実行しております。

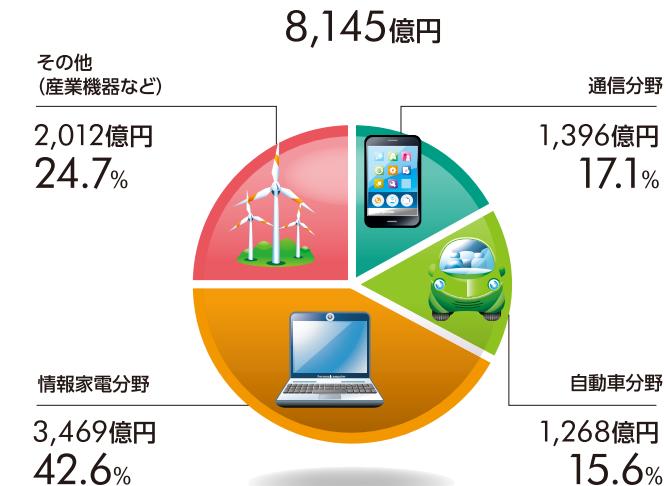


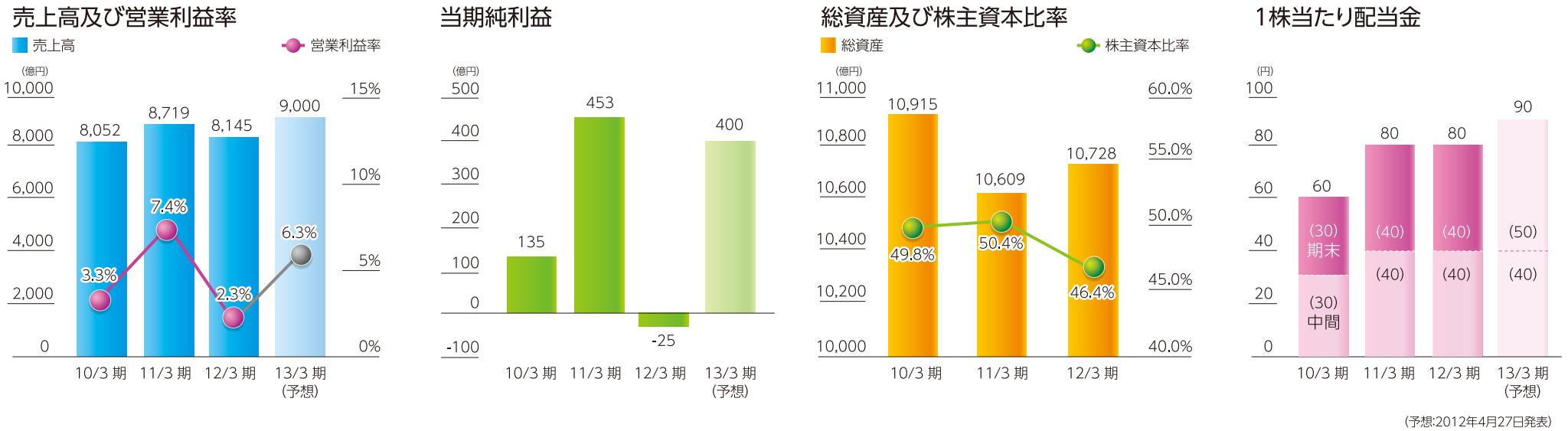
では、その構造改革について、 ねらいと成果を教えてください。

上釜：ねらいは拠点・人材・人員の最適化です。日本の東北地区の構造改革に力を入れます。既に、東北地区19工場中7工場の再編を発表し、順次進めております。今後は、素材から製品化までのプロセスを一貫でできる先端工場へと変えています。また、装置の内製化も含めてモノづくりのやり方を変えることで、リードタイムの短縮、在庫の削減、省エネ型の生産の徹底を推し進め、競争力を高めています。さらに、全社的には収益性が高く、かつTDKの強みを活かせる領域として、車載や産業機器、社会インフラなどの分野

に注力していく方針です。こうした取り組みにより2013年3月期には165億円の構造改革効果を見込んでいます。

市場別売上高(2012年3月期)





(予想:2012年4月27日発表)



成長戦略について お聞かせください。

上釜:成長分野を「次世代情報通信」と「エネルギー関連」の2つに設定し、市場を開拓していきます。クラウドを中心拡大する「次世代情報通信」については、スマートフォンやタブレットPCなどの普及とデータセンター利用の増加に応じて、HDD用ヘッド及びストレージ(記録媒体)関連の製品を中心に拡販を目指します。今後も大容量のデータ保存に最適なストレージとして、HDDは大いに期待されていることから、HDD用ヘッドの需要増を見込んでいます。一方、高容量バッテリや高効率電源などの技術が求められる「エネルギー関連」については、当社の技術を駆使してトータルに製品を提供していきます。また、従来の「記録メディア」は「アプライドフィルム」と名称を変更し、同時にフィルム事業を三隅川工場(大分県)に集結して、ここを機能性フィルムのマザーワークとしていく考

えです。さらに研究開発については磁性分野の材料開発に注力します。今年を“磁石元年”として画期的な磁石の開発に挑みます。同じくTDKの強みであるプロセス技術についても、さらに磨きをかけて成長戦略を加速してまいります。



2013年3月期の業績と配当の見通しについて教えてください。

上釜:増収増益を見込んでいます。まず、構造改革を引き続き実施し、受動部品事業を黒字体质へと転換していきます。一方で、通信分野やデータセンター需要の増大によるHDD用ヘッドの伸び、自動車・エネルギー関連製品の伸びが期待されます。

これにより2013年3月期連結業績は、売上高9,000億円、営業利益570億円、当期純利益400億円を目指します。配当金は前期比10円増の1株あたり90円(中間40円、期末50円)を予定しています。今後も長期的な企業価値の拡大に全社一丸となって取り組み、配当についても安定的な増加に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申しあげます。

製品別・地域別業績概要

受動部品

〈主要市場分野〉



当セグメントは、①コンデンサ②インダクティブデバイス③その他受動部品で構成され、売上高は、3,815億76百万円（前期4,255億32百万円、前期比10.3%減）となりました。



コンデンサ事業

産業機器市場及び自動車市場向けでアルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサの販売が増加。情報家電市場向けでセラミックコンデンサの販売は減少。

インダクティブデバイス事業

自動車市場向けの販売が増加。情報家電市場向けの販売は減少。



その他受動部品

通信機器市場向けで高周波部品の販売と、産業機器市場向けで圧電材料部品・回路保護部品の販売が減少。



フィルム応用製品

〈主要市場分野〉



当セグメントは、①エナジーデバイス（二次電池）②アプライドフィルムで構成され、売上高は927億27百万円（前期585億97百万円、前期比58.2%増）となりました。



エナジーデバイス

スマートフォンを中心とした通信機器市場及び情報家電市場向けの販売が大幅に増加。



アプライドフィルム (旧記録メディア)

通信機器市場向けで増加。

売上高(億円)

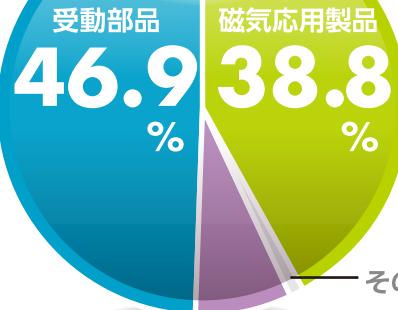
4,255

2011/3 期

3,816

10.3%減

2012/3 期



磁気応用製品

〈主要市場分野〉



当セグメントは、①記録デバイス②その他磁気応用製品で構成され、売上高は3,164億2百万円（前期3,564億73百万円、前期比11.2%減）となりました。



記録デバイス事業

タイの洪水被害によるHDD生産の減少に伴いHDD用ヘッドの販売数量が減少。加えて、売価下落や米ドルに対する円高の影響もあり減収。



その他磁気応用製品

電源の販売が産業機器市場向けで減少したものの、自動車市場向けで増加。マグネットの販売は自動車市場向けを中心に堅調に推移。

売上高(億円)

3,565

2011/3 期

3,164

11.2%減

2012/3 期

地域別売上構成

海外売上比率

86.2%

Europe

15.1%

Asia

60.6%

Japan

13.8%

Americas

10.5%

当社グループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は80%を大きく超えています。また、地域別では、アジア地域が60%以上と、最も大きな割合を占めています。

災害に立ち向かい、乗り越える。 支えたのは、メーカーとしての使命感。

「タイ近代史上最大」と言われた2011年10月のタイ洪水。TDKタイランド(TTL)、マグネコンプ(MPT)のTDKグループ2社も被害を受けました。

高さ2.3mの洪水に襲われた両社の工場。「1階はほとんどがクリーンルーム。それなのに1ヵ月半も水に浸かり電気系統は全壊状態に」(TTL社長)、「完全に水没し、ボートに乗らなければ入れない状態だった」(MPT社長)というすさまじさでした。



▲結束力！仲間の支え！
TDKマレーシアから急遽届けられた支援のボート。

この事態にMPT社員が170名もの対策チームを立ち上げ、徹夜で重要機材を他地区の工場に運搬。そこでは迫り来る洪水から機材を死守すべくわずか3日で数百mの防壁を築き、社長自らも物資の確保に奔走しました。こうした活動が奏功し、10月の終わり頃には業務再開の準備に着手。MPTワンノイ工場では早くも洪水の1ヵ月後には完全操業を果たしました。また、TTLでも水の引

いた12月から、社員が一丸となり復旧活動を進め、この4月に生産再開にこぎつけました。

お客様に対する供給責任を果たすという使命感のもとで立ち向かった災害。今回の教訓から、工場の床のかさ上げや新しい防水堤の建設など、より災害に強い体制づくりを推進しています。



▲とにかく浸水を防がなければ！
社員一丸となって築いた防水壁。

世界 & 遺産 GLOBAL TDK

しんしこうていりょう

秦始皇帝陵

へいばようこう

と兵馬俑坑

中国陝西省西安市の郊外に、1974年に発見された中国最初の統一国家・秦を樹立した始皇帝の陵墓があります。周囲6.2km、高さ76mという壮大な陵墓で、38年の歳月と70万人の労力が投じられたといわれます。この陵墓を取り巻くように、多数の陶製の兵士や馬、戦車などが配置されているのが兵馬俑坑。20世紀最大の発見の1つともいわれ、1987年に始皇帝陵とともにユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。

このコーナーでは、海外のグループ企業と、その国にある世界遺産をシリーズで紹介します。第1回目はアジアの大國、お隣り中国です。



▲約8,000体の武士俑がすべて東を向いて始皇帝を守る！

中国のグループ企業ご紹介



▲中国福建省南部のアモイ市にあるアモイTDK (TDK Xiamen Co.,Ltd.)。中国のエレクトロニクス産業の急速な発展を背景に1994年に設立。

アモイTDKは生産のみならず、材料開発も備えた中国の主力拠点。先進の技術と製造設備、コスト優位性などを活かして、世界市場に向けてフェライト、トランス、インダクタ、中高圧コンデンサ、リングバリスタなどを提供しています。

Cloud Computing

クラウドコンピューティングって なに?

いつでもどこでも簡単につながる仕組みです

グローバル社会はインターネットの普及により、1つにつながりました。クラウドコンピューティングとは、インターネットを雲(クラウド)に見立てた情報処理の新たなスタイル。従来のパソコンは、アプリケーションソフトもデータも機器本体に格納していました。クラウドコンピューティングでは、ハードウェアやソフトウェアなどの装備は、クラウド側にまかせ、ユーザーはさまざまなサービスを必要なときに必要なだけ、すぐに使えるところがメリットです。

ライフスタイル、ワークスタイルを大きく変えるクラウドコンピューティング

クラウドコンピューティングは、エネルギー、交通、医療・ヘルスケア、公共サービス、食品・農業といったソーシャル(社会)サービスの分野にも広がりを見せています。



「データセンター」って なに?

そのクラウドコンピューティングの中心的存在です!

データセンターは、サーバ(大型・高速コンピュータ)や外部記憶装置、データ通信などの装置を設置・運用することに特化した施設です。クラウドコンピューティングの進展により、ITシステムをデータセンターの機器で構築する企業が増えています。

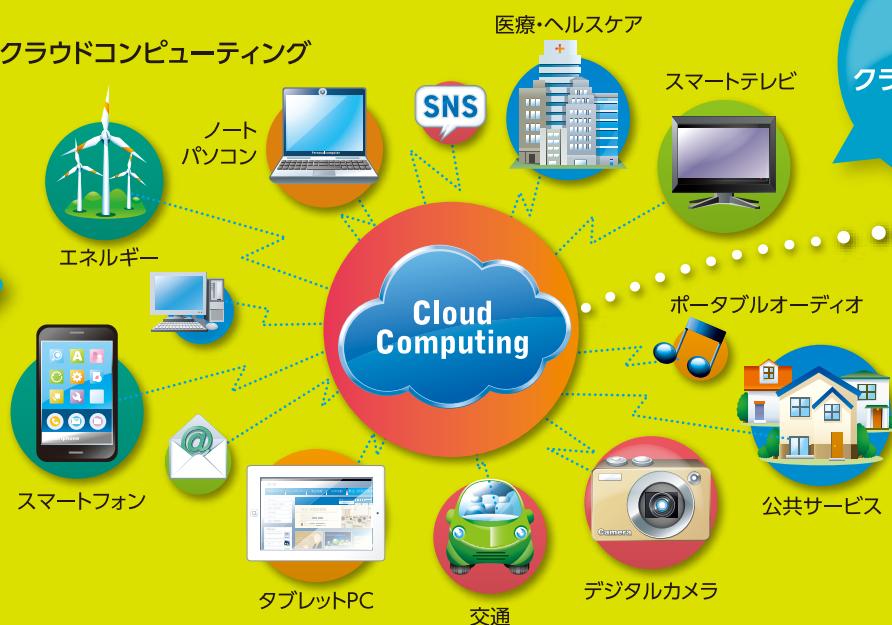
このデータセンター利用の拡大に伴い、大量のITシステム機器のデータ処理の高速・大容量化への対応、またITシステム機器や空調システムなどの省電力化への努力が求められています。

データセンターは
数多くのサーバなどで構成

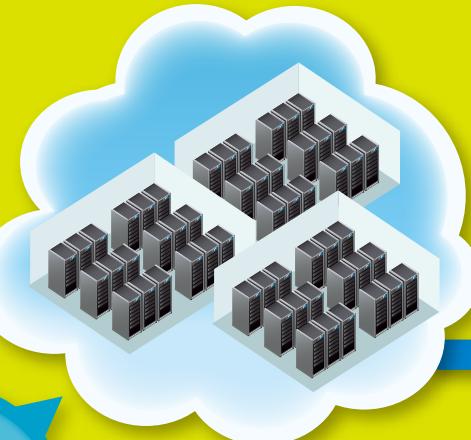
従来型コンピューティング



クラウドコンピューティング



これからの
IT社会は、
クラウドサービスが
サポート

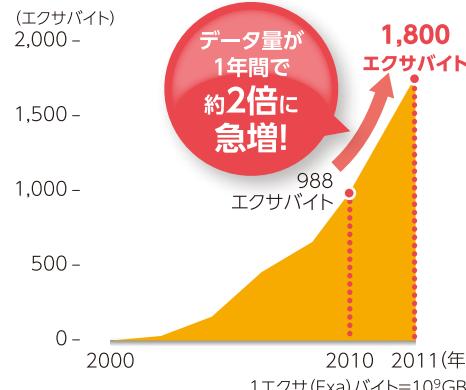


データセンターは
クラウド
コンピューティング
の中心的存在

そのデータセンターをTDKの技術が大きくサポート!

データセンターの高速・大容量化に貢献

爆発的に増える世界全体の情報量

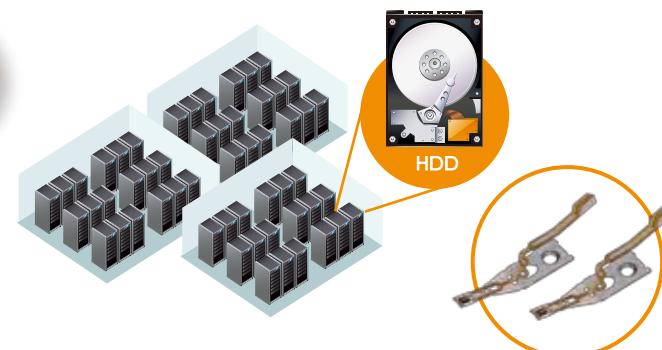


Horizon Information Strategies, cited from "Storage: New Game New Rules" 及び Information Data Corporation, "The Diverse and Exploding Digital Universe", 2008 をもとに TDK で作成。

TDKはHDD用ヘッドの高記録密度化でHDDの進化に対応

HDD用ヘッドは高度な薄膜技術によって製造されます。TDKはHDD用ヘッドの高記録密度化を推進。この10年で約100倍の記録密度化を実現してHDDの大容量化に貢献してきました。

現在、さらなる高記録密度化を実現する最先端の新技術「熱アシスト方式」の実用化に取り組んでいます。また、HDD用ヘッドを動かすモータ用にジスプロシウム(レアアース(希土類)元素の一つ)を使用しない磁石も開発しています。



高記録密度化を実現する
HDD用ヘッド



ジスプロシウム(レアアース)を使用しない
モータ用磁石(開発中)



電力使用効率をアップさせる
フロントエンド用電源



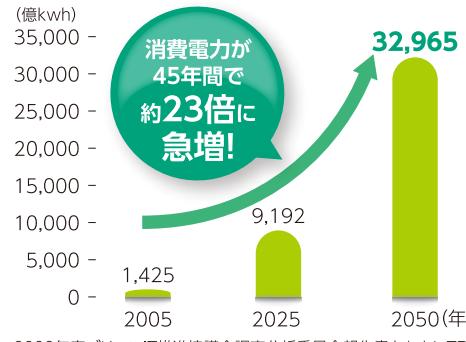
電力バックアップ用バッテリの
電力を有効活用する
双向DC-DCコンバータ



空調システムの省エネ化に
貢献するコンプレッサ用磁石

データセンターの省エネに貢献

急増するデータセンターの電力消費量(世界)



TDKは電源や磁石など幅広い製品でデータセンターの省電力化に対応

TDKではHDD用ヘッドの高記録密度化による消費電力の削減に加えて、データセンター向けに需要が高まっているブレードサーバー向けの高効率電源や、バッテリとの電力のやり取りに使われる双向DC-DCコンバータ、また空調システムのコンプレッサ用モータに使われる小型・軽量で強力な磁石などを提供し、データセンターの省電力化をサポートしています。

2008年度グリーンIT推進協議会調査分析委員会報告書をもとにTDKで作成。

株主メモ

● 株式に関するお問合せ先

証券会社等にて株式をお持ちの場合

○ 配当金の受取方法の指定、変更	お取引のある証券会社等
○ 単元未満株式の買取・買増請求	
○ 住所変更、名義変更等	
未払配当金の照会、支払い	下記の株主名簿管理人

特別口座にて株式をお持ちの場合

各種お手続き等	下記の口座管理機関
---------	-----------

* 特別口座の方は、証券会社等に一般口座を開設し、株式を振替えることをお勧めします。
(特別口座とは、2008年12月末までにほふり(証券保管振替機構)に株券をお預けにならなかつた株主様の株式を、当社がお預かりし一旦管理させていただいている口座のことです)

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

〈お知らせコーナー〉

○ 配当金の受取方法について：

配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします!

○ 単元未満株式の買取・買増請求について：

単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料を2012年4月1日から無料とさせていただいておりますので、是非ご活用ください!

(但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご留意ください)

○ 今回お送りした「配当金計算書」について：

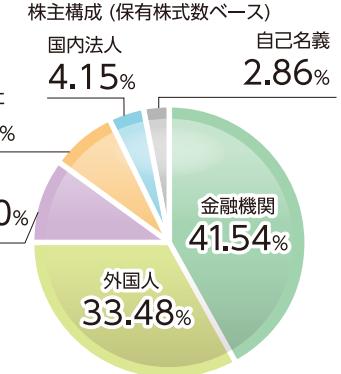
毎年の確定申告を行なう際、添付書類としてご使用いただくことができますので、大切に保管ください!

● 株式の状況

基本情報

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)、ロンドン
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)
定期株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/ に掲載いたします)
1単元の株式数	100株

株主の状況 (2012年3月31日現在) 株主数 31,133名



● 役員の状況

取締役、監査役及び執行役員 (2012年6月28日現在)

取締役 (*印は社外取締役)	執行役員	執行役員
代表取締役 上釜 健宏	社長 上釜 健宏	執行役員 松岡 薫
取締役 森 健一*	専務執行役員 Raymond Leung (レイモンド・リジョン)	執行役員 斎藤 昇
取締役 梁瀬 行雄*	専務執行役員 小林 敦夫	執行役員 桃塚 高和
取締役 米山 淳二	専務執行役員 植村 博之	執行役員 永田 充(新任)
取締役 大野 亮一*	常務執行役員 荒谷 真一	執行役員 Joachim Zichlarz(新任) (ヨアヒム・ツィラルツ)
取締役 小林 敦夫(新任)	常務執行役員 逢坂 清治	執行役員 Joachim Thiele(新任) (ヨアヒム・ティーレ)
取締役 植村 博之(新任)	常務執行役員 広田 嘉章	
	執行役員 石垣 高哉	
監査役 (*印は社外監査役)	執行役員 吉原 信也	
常勤監査役 四居 治	執行役員 米山 淳二	
常勤監査役 原 登	執行役員 Robin Zeng (ロビン・ゼン)	
監査役 中本 攻**	執行役員 梶屋 雅隆	
監査役 増田 宏一**		
監査役 澄田 誠**		



● IR年間スケジュール 詳しいIR情報は当社のホームページをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/ir/>



【編集後記】今般、株主通信「TDK TODAY」を全面リニューアルいたしました。このリニューアルは、これまで株主の皆様からいただいた、たくさんのご意見やご要望を踏まえ、実施したものです。今後も当社をよりご理解いただけるよう、誌面作りに全力投球してまいります。今後ともよろしくお願い申しあげます。



この冊子は植物油インクを使用しています。



〒103-8272 東京都中央区日本橋1-13-1
<http://www.tdk.co.jp/>